

首都圏ミートパッカー輸出推進協総会、役員改選で阿部代表理事ら再任

首都圏ミートパッカー輸出推進協議会(代表理事 阿部昌史・(株)ミート・コンパニオン代表取締役)はこのほど、第12回定期総会を书面開催。令和5年度事業報告や令和6年度事業計画(案)などを審議し、上程全議案が承認された。任期満了に伴う役員選任では代表理事に阿部氏、副代表理事に原田知昌、斎藤義一の両氏、理事に音田俊彦、森島了、宮健一、河上貴一、宮下義史、小原和也、山田彰男の各氏を再任。また、新たに柴原篤史氏(アクサトレーディング(株)代表取締役社長)が理事に就任した。そのほか、会計監査役には植井敏夫氏を再任した。令和6年度もオールドジャパンの輸出拡大を目的とした販売促進活動として、専門家・海外バイヤーらを派遣・招へい。さらに海外における展示会、商談会への専門家らの派遣などを実施する。

阿部代表理事はあいさつで「近年は外食需要とインバウンド消費の回復が顕著となり、国内経済が正常化する一方、物価上昇による個人消費抑制の傾向は続いており、景気の停滞感が感じられる。このような低価格志向の強まりは、国産牛肉の買い控えを生み、特に価格の高い和牛は消費者離れが懸念される。和牛業界にとつて深刻な需給バランスの崩壊を回避し、適正な価格形成を維持するためにも、高級部位の海外輸出を念頭に置いた販売戦略が必要となる。食肉を取り巻く環境は厳しさを増しているが、グローバルな需給関係を築いていけるような販路の確保・拡大に向けた取り組みを一層強化していきたいと考えている」と強調。「輸出力強化への支援として、当協議会が加入している日本畜産物輸出促進協会実施の販売促進活動のための派遣・招へい事業があるので、ぜひ活用していただきたい」と呼びかけた。